

2021年 海外研修プログラム

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本学の方針に基づいて、昨年の夏休みから海外短期留学プログラムは中止しており、現在はオンライン留学を中心に海外研修を実施しています。今年の夏休みは、アメリカの南イリノイ大学（SIU）と連携した英語・アメリカ文化プログラム（4週間）、台湾の淡江大学と連携した中国語・台湾文化プログラム（3週間）、韓国の慶北大学と連携した韓国語・韓国文化プログラム（2週間）の3つのプログラムを実施します。プログラムでは、外国語の習得だけでなく、学生交流を通して異文化理解の向上を目指しています。なお、参加費用の半額程度の奨学金（返済不要）に申請可能となっていますので、経済的にも受講しやすくなっています。

また、SIUのプログラムでは、参加者にTOEIC100点アップを目標に持たせ、実際にプログラム前後の英語試験で英語力の変化を測定します。さらに、目標を達成できるように、インターナショナルオフィスが英語学習のサポート（プログラム前とプログラム中の英語会話授業や毎日の課題配信）を行います。

新型コロナウイルスの感染が収束すれば、春休みには海外（アメリカ、カナダ、ニュージーランド、台湾、マレーシア、ベトナム）への海外短期留学プログラム（10日～5週間）を再開する予定になっています。その際、アスパイア奨学金制度（返済不要）を利用することができます。詳しくはインターナショナルオフィスまでお問合せください。

英語・文化研修 南イリノイ大学（アメリカ）

今回、英語のスキル向上はもちろんですが、コミュニケーションツールとしての英語の大切さを実感しました。また、文法は完璧でなくても自分の考えは伝わるし、伝えようとするのが一番大切だと思いました。さらに、海外の学生や積極的に英語学習に取り組んでいる学生と英語を学ぶことで、今までにないような刺激を受けることができ、今後のモチベーションにつながりました。期間中は授業についていくために、スーパー英語をしたり、洋画や洋楽に多く触れるようにしました。実際にTOEICミニテストで200点アップしたときは、すごく嬉しかったです。

医学部医科栄養学科2年 H. Y.

中国語・文化研修 淡江大学（台湾）

内容が夏から大幅にリニューアルされており、また一味違った経験ができました。レベル別にクラス分けされていて、自分に合った授業を受けることができました。今回初めて日本語を使わない授業を受けることで、最も現地での留学に近い学習になったと考えます。学生交流では、先生とチューターさんをお話し、学生生活や日常の生活習慣についてなど、多方面の視点から台湾と日本の比較をすることができました。双方の文化について多く学ぶことができましたが、より円滑なコミュニケーションのために、これから更に中国語を勉強したいと感じています。

総合科学部2年 Y. C.

英語・文化研修 マレーシアマラッカ技術大学（マレーシア）

講義では、マレーシアの景観、食文化、歴史などの紹介や、英文法、英語表現の使い分け、旅行で使える英会話などを学びました。普段の日常生活で学ぶことのできない異文化を学ぶことができ、新たな見識が広がりました。また、現地の生徒や先生に対して日本や自らの出身地の紹介する機会があり、自らが育ってきた土地の良さを再確認することができることも、海外の人々に母国の事柄を理解してもらえるようにできるだけ分かりやすく英語で説明することの難しさを体感しました。全講義を通して、英語を聞き取る能力と話す能力を養うことができたと感じています。

医学部医学科2年 N. M.

短期海外留学プログラム

- ・留学計画、留学先選びに関する相談
インターナショナルオフィス 清藤教員まで
kiyofuji@tokushima-u.ac.jp
- ・参加手続き・留学奨学金申請に関する質問等
徳島大学国際課留学生支援係まで
ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

徳島大学インターナショナルオフィス [検索](#)



英語・文化研修（マレーシアマラッカ技術大学）修了式

グローバルパーソン集中プログラム（GRIP）

3か月間の「グローバルパーソン集中プログラム（GRIP: Global Person Resources Intensive Program）」を行います。このプログラムは、本国および他国の文化・歴史を理解し、外国語による高いコミュニケーション能力を持って、多様な人と協働できる「グローバルパーソン」の育成を目的としています。学生たちは学部を超えてお互いに学び合い、地域の高校生や市民とともに英語で地域の文化を学び、オンライン交流やHP等を通じて海外に向けて情報を発信します。また、アメリカ・南イリノイ大学（SIU）と共同で実施する夏休み4週間オンライン留学への参加、およびインターナショナルオフィスが提供する英語集中講座に参加することで、英語力および異文化理解を高めてもらいます。プログラム終了後、成果発表会を実施し、自身の変化や視野の広がりを言語化させます。また、プログラム受講前後には英語力および心理的変容を客観的に測定する予定です。

グローバルパーソン集中プログラム (GRIP) 参加者募集

世界で活躍するグローバルパーソンを目指しませんか？

GRIP 3ヶ月集中プログラム内容

- 英語集中講座 ● 講演会
- 米国・オーストラリア留学
- 日本文化講座 (英語)

全学年対象
費用全額無料

募集期間
2021年8月28日～9月

申込先
国際課 留学生支援係

お問い合わせ先
国際課 留学生支援係

URL
http://www.tokushima-u.ac.jp/international/21815/

主催 徳島大学
インターナショナルオフィス
〒770-8502 徳島市 鳴海 (徳島県)



インターナショナルオフィス 最近の主な活動

渡日前入学許可制度

1月29日、ベトナムのドンズー日本語学校とオンラインでつなぎ、「渡日前入学許可制度」に関する説明会を実施しました。説明会では本制度の説明を行い、続いて既に入學している先輩のベトナム人留学生から勉強、日常生活、卒業後の就職などの説明がありました。現地に参加した約60人の学生からは、活発な質問がありました。また、3月10日、韓国の時事日本語学院とオンラインによる説明会を実施しました。約10人の学生が参加し、本学の河村副学長、時事日本語学院の嚴代表の挨拶のあと、徳島大学や渡日前入学許可制度について説明を行いました。また、渡日前入学許可制度により入学した先輩の韓国人留学生が、参加学生からの学業に関する質問に答えました。

2021年度「渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜」については、新型コロナウイルス感染症の影響で本学の教職員が現地に渡航できない状況の中、本学の卒業留学生同窓会と連携しながら実施し、3名が理工学部に入學しました。

留学生のための就職支援セミナー

5月14日、第1回留学生のための就職支援セミナー「日本での就職について知ろう」を開催しました。今回は、留学生の就職支援サイト「リュウカツ」を運営する(株) オリジネーター(東京)の講師に日本での就職活動に関する基本的な情報を説明してもらいました。参加した留学生からは、「日本語能力検定試験(JLPT)以外にもビジネス日本語検定も受けておいた方が良いですか」などの質問があり、とても積極的に参加していました。

6月11日には第2回留学生のための就職支援セミナー「インターンシップについて学ぼう」を開催しました。セミナーでは、マイナビ、リクナビから、インターンシップの重要性、インターンシップの探し方・応募方法などについて説明してもらいました。また、本学キャリア支援室の浜井キャリアコーディネーターからは、インターンシップに参加する際の注意点などについて説明してもらいました。

続く7月8日には「留学生のためのジョブフェア&交流会」をジェトロ徳島と徳島地域留学生交流推進協議会との共催で開催しました。県内高等教育機関に在籍する留学生15名と県内企業5社が参加し、対面での交流を行いました。各企業に設けたブースでは就職活動中の留学生が採用のプロセスや採用後の業務などについて質問する場面も見受けられ、留学生と企業の間で熱心に情報交換が行われていました。



交流会の様子

日本語教育

インターナショナルオフィスでは、毎日3~4時間半、日本語学習を行う「日本語研修コース」と週2回(各90分)の「総合日本語」を開講しています。2020年度は、ほとんどの授業をオンラインで行いました。2020年度後期には「日本語研修コース」の初級クラスと「総合日本語」7クラスを開講し、日本語研修コースには10人、総合日本語には30人の外国人留学生が参加しました。日本語研修コースの修了式がオンライン参加も含めたハイブリッド形式で3月15日に行われ、36人が出席しました。今回初めて学生の母国にいる家族の方々(フィリピン、セーシェル、ラトビアなど)もオンラインで出席され、「地球規模」の式になりました。

2021年度前期には、「総合日本語」7クラスを開講し、20人の外国人留学生が日本語を学習しています。日本語の授業をオンラインで行うことに伴い、予習・復習用の資料、ディクテーションの動画などを順次作成し、ホームページにアップしています。今後も内容を改善、充実させ、日本語学習を必要としている学生のサポートをより良いものにしていきます。



日本語研修コース修了式



日本語学習のためのサイト

留学生生活実態オンライン調査、コロナ対策セミナー

3月9日から15日まで、コロナ禍での留学生の生活への影響についてオンラインでの調査を行いました。留学生110人からの回答によると、新型コロナウイルス感染症が学業、研究、日常生活、身体や精神状態、収入、就職、キャリア計画など留学生のさまざまな側面に影響を与えていることが分かりました。これらの結果に基づいて、さらなる支援の必要性が明らかになりました。

そこで、5月28日に「外国人留学生のためのコロナストレス対策セミナー」をオンラインで開催し、8名の留学生が参加しました。キャンパスライフ健康支援センターの井ノ崎敦子講師から、コロナ禍で留学生が抱えやすいストレス、ストレスを感じやすい思考パターン、免疫機能を高める方法等について学びました。今後も留学生の生活を支援するための活動を継続していきます。



コロナ対策セミナーの様子

留学生の生活支援

4月23日、新入留学生向けのガイダンスをオンラインで行い、教員から学生生活や日常生活に関する注意事項について説明しました。ガイダンスの資料配付にあわせて、徳島地域留学生交流推進協議会の関係機関からご寄付いただいた日用品などを新入留学生に配付しました。

また、4月末にはお米をご寄付いただいたため、希望する留学生全員に配付しました。